1966年を飛躍と発展の年に

川口町公民館報
公民館報
第75号
発行人 古田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山静堂印刷所

新春を迎えて 町民の皆様へ

川口町長 関口淳治

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、まず町民の皆様のご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

多事多端でありました昭和四十年を送り輝やかしい昭和四十一年の新春を迎えることが出来ましたことはまことに感激深いものがございます。

すぎ去った年をふり返ってみますと国鉄復線工事 国道十七号線工事 その他国、県の公共土木事業の施行にあたり関係者の理解ある御協力に対し衷心から敬意を表します。

又川口小学校の給食室新築、山ノ相川教員住宅の新築、牛ケ首へき地集会場の新築等も順調に進捗し完成を見ましたことは御同慶に堪えません。

さて新年を迎え町勢発展の見通しは明かるいものとなってきております。

すなわち国鉄復線の完成、国道十七号線の完成に県道の辺地改修とあわせて町道農道の等の開鑿によって町の地図が大きく塗りかえられる時代がやって来ました。

一方教育、農林振興、企業の育成、環境衛生整備など町民の身近な問題もことしは着実に前進を遂げるものと確信しております。

しかしながらいろ〳〵な意味で現実はなおきびしく町民こぞって励し合い、手をとりあって努力を続けなければならない年かと存じます。

一層の御支援をお願いする次第でございます。

二十才を迎えて

和南津 関 貞子

お正月を迎える度に年令を増して、今年は二十回目の、お正月、私にとって意義深いものになると思います。

勉強を、もっとやってみたい、洋裁も習いたいと、あれも、これもと欲ばっているうちに、結局は一つも満足できないで二十才を迎えてしまいました。十八才と十九才は、たいして変りはありませんが、十九才と二十才とは、気持の上で大きく違うと思います。世間が「大人」として見ますし、選挙権が与えられます。ようやく、新聞の一面記事に興味を持ち始めた近頃、人々の一票がどんな大きな効力を表わすか、わかってきました。国の政治姿勢も、一人一人の良識で良い方へも、悪い方へも向けられるのではないでしょうか。成人だけに与えられる、この大切な一票を清く使えるように、もっと政治面に興味を持とうと思います。それから、「二十才を過ぎると年を取るのが早いよ」と、よく家人に言われます。たしかに大人としての責い事がたくさんあり、その日その日を、よほど有意義に過さないと何も身につかないうちに年を取る感じがして不安になります。スケートに乗ったり、ダンスをしたり、青春を楽しむことも若人には大切なことだとは思いますが、毎日、その繰り返しでは、いけないと思います。若さにものをいわせて、やれるだけ習い事をしたり良い本を読んだり、一ヶ月に一回でも二回でも良いので、良い講演を聞いたり、座談会に出席したりして、前向きの姿勢で物事を学び、社会人として恥かしくない態度を、除々に身につけていきたいと思っています。

議会だより

（社文委員長に山田寅之助氏）

去る十二月二十日の定例議会において故鈴木松次社会文教委員長の後任に山田寅之助氏が選任された。

なお決算議会の詳細については次号に登載します。

人づくり、家庭づくりのために

家庭教育学級生募集

国の方針にもとずいて昨年十二月家庭教育学校を開設いたしました。現代の子供を正しく理解するために親はどのように考え、どのような態度が望ましいかを専門の講師のお話しをきき、あるいは映画を見たり、録音テープにより学習したりして効果をあげています。

二年目をむかえたこの学級も内容も一段と具体的にしてしかも運営を自主的にしていこうと張り切っております。

現在二十七名の学級生が三つの委員会を組織して綿密に次の学習計画をたてゝおります。いつでも学級に入ることができますので希望者は、教育委員会あてお申込みください。学習場所は主として役場ですが、これからは、他の町村の学級の見学や、研修旅行も計画しております。

子供を正しく育てるためには親や、大人は常に集団の中で勉強しなければなりません。一人でもおゝくこの家庭教育学級に入られるようおすゝめします。

歳末たすけあい運動に協力

[illegible]木小学校三年生の広井英昭君は現金五千円を拾い届けでていたが、このほど落し主がみつからず、英昭君のところへお金がもどってきた。

英昭君はさっそくこのお金をこまっている人たちにとくれ十二月十七日に役場へとどけられた。

謹賀新年

議長 青柳 弘
副議長 大渕洋治

◎委員長 ○副委員長

◎総務
◎佐藤角一郎
○星野武夫
喜多村一博
大渕竹太郎
江島松吉
上村正雄
大渕洋治

◎社会文教
◎山田寅之助
○河上徳太郎
平沢助太郎
桜井一雄
網 与市
渡辺信栄

◎産業土木
◎星野光威
○広井松雄
上村忠作
関 久作
森山平八
丸山和夫
山崎良治

監査委員
目黒寅吉
河上徳太郎

教育委員
委員長 関 平吉
副委員長 小宮山賢吉
委員 鈴木六郎
渡辺仁太郎

おとうさん あのね

出稼ぎに行っているお父さんへ

山ノ相川分校低学年（一、二、三年）のおたよりから

でかせぎ〃秋のとり入れが終ると休むまもなく兄さん、姉さんそしてお父さんも東京や神奈川へ行ってしまう。雪が消え、桜が咲くころまで帰ってこない。田植えや稲刈やかいこの仕事でつかれているのに、あんなにしんけんにはたらいたのに、また遠いところへ行ってはたらかなければならないのはなぜだろう。ぼくたちはお母さんとしっかりるすばんをしていても、ときどきさみしくなってお父さんと呼んでみたくなる。そんな時ぼくたちはちからいっぱいえんぴつをにぎってお父さん、あのね、と手がみを書くんだ。

山ノ相川分校の一、二、三年（担任土井淳子教諭）がでかせぎに行ってるお父さんに、家のこと自分のこと、学校のことなどを手紙に書いて文集にして送った。その中から一部を紹介しょう。

おとうさん ゆきふったよ

一ねん くろしまみちこ

お父さんあのね、わたしたちのほうは、もうゆきがふったよ、そしてもう十せんちくらいゆきがふったよ、そしてわたしは日よう日に、ほりのうちへいきました。中だにいったらうらのお父さんがまちへはたらきにいくところだったよ、そしてもうお母さんは、はたをうったよ。おとうさんのいるほうはゆきがふりましたか、ことしはいしゃにいくのがおわったら、なかよしというほんをかってくれるといったのに、かってくれなかったのでくるときのおみやげは本にしてください。

さようなら

おとうさんへ

二ねん くろしまよしあき

おとうさんあのね、山のあいかわには、もう雪がふりました、もうスキーにのれます、でもあんまりふっていません、ぼくはちょっとでもふればぼくはのります。うちではごはんをたべるとき、おとうさんがいまなにしているかなとかんがえています。ぼくはおとうさんがはやくかえってくるのが楽しみです。

おとうさん おかあさん

三年 黒島朝子

おとうさんあのね、お父さんがごはんをたべていたところに、こんどはわたしがすわりました、お母さんがすわっていたところに、おねえさんがすわりました、お父さんやお母さんがいないと、おぜんがすきます、お母さんやお父さんがいるときゅうくつでにぎやかですがいまは少しなのですいています、やっぱりにぎやかなほうがいいです。

おとこの仕事はおじいさんばっかりなのでしずかです。お父さんもはたらきになんかいかないでうちでしごとをすればいいのに。お父さん、はたらきにいかなくてもうちでしごとはたくさんあるでしょう。お父さん、お母さんがいないとうちがしずかなのですぐかえってきてください。

さようなら

おとうさん!!

みんなお父さんがすきなのです。大きくなってからも自分の意見をはっきり言える人になるよう勉強しています。

みんな心をこめてたよりを書いたのです。おたよりまっています。出稼ぎのお父さんお正月にはみんながまっています。

山の相川に教員住宅完成

めぐまれないへき地に赴任している先生方のために、町では三十四年につづいてこのほど二棟目の教員住宅を新築した。

工事費百万円で一七、三九七坪、三世帯入居できるようになっている。へき地に先生が来ないという昨今だが、これで山ノ相川については受け入れ態勢がととのったわけである。

牛ケ首に集会場新築

へき地教育の振興をめざし各種の事業が実施されているが町ではこのたびその一つとして牛ケ首に集会場を新築した。これは冬季分校として使用されるが、冬季以外は部落の集会場として諸会合に利用されることになっている。工事費一五〇万円で昨年十一月完成、従来の冬季分校より大きく、三〇、五坪で牛ケ首部落の教育の殿堂として期待されている。

青年スポーツ講座開設

スポーツ少年団の結成につづいて、青年講座を開設しょうとはたらきかけていたが、このほど二十一人の青年が集まりスポーツを中心とした講座をつづけることになった。

冬季間は主としてバスケットボールを中心に行ない、シーズンにより他の種目も実施していく予定である。週一回川口中学校を会場にして実施しているので、希望者は教育委員会まで申込まれたい。

私たちの使命

連合婦人会長 内藤フミ子

川口町の婦人会も連合会となりましてから早くも一年になろうとしております。大きな団体の一つである婦人会は会員の巾が広いだけに数多くの問題をかゝえてはおりますが、主婦として又母親として多くの共通点をもっております。我が家の幸福を第一に考え家族の健康管理と家庭経済に専念し又我が子が健全に成人するように、それがために明かるい町づくりに協力をし住みよい社会を作るために常に政治に関心をもたなければならないと思いますそれがためには自分の家ばかり良くなろうとしても住んでいる部落が町が、明かるく住みよい環境でなくてはなりません。

町が郡が県が国が明かるい住みよい環境であってこそはじめて我が家の幸せが作られるものと思います。私達一人一人の力は少さくとも町郡県国とまとまってこそはじめて大きな力となってよりよき社会を作る原動力となると信じます。国家の発展と平和を願い世界の平和を願う婦人の一員として大きく視野を拡げ、明かるい日常生活を営んでこそ人の母としての使命がはたされる事と思います。

婦人会ー奉仕活動と多くの方々が考えておられる様ですがそれで良いのだと思います。今の様な社会状態なればこそ、なお奉仕精神が大切だと思います。生活に苦しくなかったら婦人は皆有志奉仕者となって社会に今までに受けた有形無形の恩はお返しをする、この様なオランペアサービスが半ば義務的になっている国もあるように明かるい住みよい社会を作るには奉仕精神は大切なものであると考えております。この様な考えのもとに作られた連合婦人会でありますので皆様の暖かい御協力によりまして、お役に立つ団体として、よりよく発展してゆきたいと存じます。

ねがい

山田英嗣

先般私は役場に於いて開かれた「青年学級、婦人学級の今後の方向はどうあるべきか」の話し合いに参加した時私は青年学級と青年団の違いとはなんだろうと或る校長先生に聞いただしてみた。

先生は元来この二つの集りはその主旨は同一でも活動内容は異るべきものでそうでなくしてはその運営は困難をきたすであろうことをおっしゃられた。確かにそうであると同感した。

現在川口町に、はっきり組織された青年学級がないのは（昨年までは田麦山地区木沢地区にはあったが今はその活動は行われていない）その為と思われた。しかし実状は各地区で二つに分けて行うことは至極むずかしいことも確かであった。何故ならそのバックボーンとなるべき設備の問題、講師、経費の問題等々が余りにも制約され過ぎるきらいもあった。それも現実には仕方ないことだと思ってはすべて終りである。ではどうすればよいのか、私はかくの如く考える。実際には各地区ごとに青年学級を育てることは最早困難なこと故にその中心となるべき青年学級を小さくともよいから早く一つ作りそれを中学校にもってきてはどうか。そうすれば今迄各地区ごとにやってるよりも教育委員会からの援助もすべての面でぐっと違って来ると思う。しかし青年学級を一つにするということは色々問題もあろうがそれは逐次解決してゆくべきでとにかくやってみることだと思う別に各地区の単位団体を無くせというのではない。しかし現実に充実した学習活動をやるには今のままではむずかしい、いやレクリエーション的活動でさえもそうである。中心の青年学級と言ってもその内容はベトナム問題を論じペン習字がうまくなることではなくやはりその根底はもっともっと自分達の郷土のことを研究し地味でもいゝ小さくともいゝ川口町に役に立てるそんな集りをつくってゆきたい。

成人病の話 その一

ガンによる死亡者は急激にふえてきています。明治時代はガンの死亡者は少なかったのですが、最近は多くなって五分三十秒に一人ずつ死亡しています。死亡順位も年々高くなって昭和二十三年には、六番目だったものが昭和三十一年は脳卒中についで第二番目となり、昭和三十九年には死亡者百人のうち十六人はガンで亡くなっています。やがて第一位にのしあがるかも知れません。科学、医学の進歩によって一般の病気は治りやすくなっているのに、ガンは、反対に猛威をふるっています、まさに近代病の大敵といえます、したがってガンはどうしたら予防できるか、万一ガンになったらどうしたらよいかということを知っておくことが大切であります。現在の医学ではガンの発病は専門的な診断法によって早期に確実に発見することができます。手術をはじめ放射線治療と化学療法によってその治療もすゝんできましたが何よりも大切なことは早いうちに発見して病気の小さいうちに適切な治療をおこなうことです。次のようなときには注意すると共に医師にみてもらうことが必要です。

記

①原因がわからず、痛みもないのにやせてきて、顔色がわるくなり、貧血してくることはないか（すべてのガン）

②ながらく胃腸の具合がわるくないか、食欲はおとろえないか（胃ガン）

③おりものがふえたり、血がまじったりしないか、不定期出血や接触出血はないか。（子宮ガン）

④乳房のなかに、ながく消えないシコリはないか。（乳ガン）

⑤ものをのみこむとき、つかえるような気がしないか。（食道ガン）

⑥便通の調子がくるったり、血がまじったりしないか。（大腸ガン、直腸ガン）

⑦咳がながく続いたり、痰に血がまじったりしないか。（肺ガン）

⑧声がかすれて、ながく治らないことはないか。（喉頭ガン）

⑨口の中や皮膚に、治りにくい潰瘍はないか。（舌ガン、皮膚ガン）

⑩尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。（腎臓ガン、膀胱ガン）

住民課

行政相談

これは困った、役所でなんとかして欲しいということがありませんか、生活保護、道路、農耕、年金などお困りの相談はご遠慮なく。

行政相談員 目黒寅吉

謹賀新年

町長 関口淳治
助役 星野輝政
収入役 石坂久平
教育長 古田島正

総務課
庶務 岡村賢吾 山田廉子 佐藤誠 渡辺浩 小宮山ナツヨ 関喜久子 湯井恵美子 小宮山秀雄
ガス水道 関誠一郎 古田島正作 中林辰夫 佐藤丹 浅関菖一 広井美智子
収入役室 渡辺男 鈴木タツミ 阿部善晴
税務課 佐藤穣一 佐藤正勝 桜井文夫 星野正 渡辺正男 古田島一政
産業課 大渕熊雄 真島早苗 星野重雄 桜井仁夫 森山留三 杵渕光行 星野さとる 保科正紀 大渕富一
土木課 関王一男 古田島友一郎 真島津 丸山晃 山田久一郎 目黒富夫
住民課 山田彦作 関口治郎 山田栄作 佐藤与可男 関公一 内山教夫 山田光江
保健衛 関ユリ 桜井サト
議会 川上敏夫
教育 金子真 広井幸雄 森山ミツ
支所 大渕卓二 山崎和
診療所 大津裕 古田島博英 関ムツ 森山ユリ 生越イシ 覚張千代子 田山野（診療所代） 森山ツイ